

会議報告書

令和3年3月25日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

(1) 概要

議 題	3/8：峰高生とのWS 報告及び今後のエリア整備 100 の整備内容について
日 時	令和3年3月8日 午後7時30分～午後9時
場 所	吉翠苑フリースペース
出席者	石嶋・田崎・本城・堀・吉岡・安達・森・今田事務局長

(2) 会議内容

第1回目の峰高生徒会役員とのワークショップの概要報告

(資料配布：生徒へのチラシ、2月のROOTS スタッフ及び丹後探究舎スタッフとの協議録)

- ・WSに参加の部会員からの感想報告
リモートであることから操作に時間を割いて時間の余裕がなかった
生徒からの意見を聞く時間が無く、具体的な意見が聞けなかった
生徒から「くつろげる場所」や「3年生が使っていると入りにくい」「曜日を決めた活用」
部屋の運営などの意見があった
- ・ROOTS スタッフとの協議で生徒の任意のグループとの協議を春休み中に開催する報告
WS 及び ROOTS スタッフとの協議を基に今後の整備についての意見交換となる

(3) 意見交換内容

ROOTS スタッフとの関係性や今後の展開について

- ・ROOTS の関係性にのめりこんで高校生との協議に迷わないようにすべき
- ・WS を開催したことで高校生の意識を持ってもらう初期目標は達成できた、大雑把ではあるが
今後は内容を含めて提示する方向も必要
- ・募金案内に事業内容の明確な提示が必要で具体性が求められている
- ・スケジュールとして、より正確な動きとして3月下旬に2回目のWS が出るのか
- ・エリア 100 の使い方の議論は高校生と ROOTS 事業してまかせれば良いのでは
- ・WS で高校生の思いがもう少しければと思っていた
- ・WS は1回で十分だと思っていたが
- ・エリア 100 の形を作り上げることが大事では
- ・娘が卒業するが、女生徒の更衣室が無く、休み時間が短く教室で着替えて行くらしい
- ・同窓会主体の事業であるという概念で整備主体となるべきではなかったか
- ・WS で高校生の意見を聞こうとなったので勧めている
- ・ROOTS スタッフとの協議やWS をして高校生の意見を活かす手法の継続が大事
- ・高校生が動き出していることから「同窓生と高校生が一緒になって創りあげる」ことが大事で
あるように思えるようになった
- ・整備事業予算枠を設けて検討を進めるべき
- ・設計業務費を聞き取って総額予算をある程度持ったけんとうをすべき
- ・ROOTS スタッフの川渕氏から、東京在住の同窓生と一緒にクラウドファンディングの計画も
- ・募金状況や同窓生の印象は、100周年という意識がないのでは（もっとPR が必要）
- ・整備内容にエアコン設置は必須のようで、学校事業として整備計画は全く考えられないようだ
- ・エアコン整備費は実行委員会の記念事業費の2/3 となり残額で他の整備工事となる
- ・とにかく整備工事費と設計業務費など経費を算出する必要がある
- ・整備内容の検討を2回目の生徒のグループ協議を行いながら整備工事費などの算出を進める

今回の記念事業部会は、生徒とのグループ協議の日程も含めて連絡をさせていただくこととなる

(4) 備考